

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう

～ 仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～



連合岩手は、10月25日(水)サンセール盛岡において第36回定期大会を開催しました。

大会議長団に自動車総連・熊谷健代議員、高教組・高橋輝久代議員を選出した後、執行部を代表して佐々木秀市会長があいさつ、「連合岩手がめざす、働くことを軸とする安心社会の実現のためには、平和・人権・民主主義を基盤にした労働運動の展開とともに、労働者・生活者の立場に立った政策制度実現のための政治的活動を連合運動の両輪として進めていかねばなりません。働くことへの価値を高め、労働者・生活者の福祉向上をめざした政治を作っていかなければなりませんし、女性の政治参画を高めることは最重要課題であると認識しています。働く者、生活者の立場に立つ政治勢力の結集をともにめざして参りましょう。」と訴えました。

また、来賓として、連合本部・北野真一副事務局長、達増拓也岩手県知事、内館茂盛岡市長(代理：赤坂國彦商工労働部長)、労福協・金田一文紀副会長、退職者連合・湊恵幸会長からご挨拶をいただきました。

報告・議事では、2023年度活動報告等について、第1号議案2023春季生活闘争等のまとめ、第2号議案2024～2025年度運動方針等がすべて承認されました。

役員改選では、伊藤裕一会長をはじめとする新役員を選出し、退任役員挨拶、大会アピール、大会スローガンが採択され、伊藤新会長による力強い団結ガンバロウで大会を閉じました。

報告・議案に対し賛成、補強する発言

議案に対し6名の方から賛成の立場で補強する意見が述べられました。



高教組
柳田代議員



岩教組
八重樫代議員



自治労
及川代議員



高教組
加賀谷代議員



青年委員会
中村特別代議員



岩教組
川村代議員

新会長就任あいさつ



会長 伊藤 裕一

記録的な猛暑・酷暑に見舞われた夏を越え、季節の移り変わりが感じられるようになりました。新型コロナウイルスの感染拡大から4年、依然として感染への対策は不可欠ですが、感染症法上の五類移行により、私たちの生活も徐々に活動的になっています。世界的なパンデミックにより、これまでの常識から大きく転換した対応を求められてきましたが、やはり対面に勝るものは無く、情報機器の活用はあくまでも補完するものというのが、多くの皆さんの認識ではないでしょうか。

そういった中、私たち連合岩手は、第36回定期大会を開催し、2024・2025年度の運動方針とともに、新たな体制を確立しました。

まず第1に、賃金関係です。今年の春闘は、中央での賃上げに向けた動きとして、8年ぶりの「政労使会議」の開催や、政界・財界からの賃上げ誘導発言、大手企業の春闘初期での満額回答などが後押しとなり、各労働組合での粘り強い交渉の結果、約30年ぶりとなる高い水準での妥結結果を生むこととなりました。しかし、社会情勢は長引く物価高と、燃料費の高騰、生産現場では原材料費の高騰が続く、賃上げの効果が表れているとは言えません。連合がめざした、人への投資による経済の好循環を生むための、最初の原動力とはなり得ていません。

10月4日に施行となった、岩手県の地域別最低賃金は、残念ながら全国で最下位の893円となりました。時給893円で、岩手の平均年間総実労働時間から年収を計算すると、単純計算で161万9千円程度。割り増しや各種手当を含まない数字ですが、まさに最低の賃金といわざるを得ません。中央審議会が賃上げに向けた機運を醸成するメッセージを発しているにもかかわらず、岩手における使用者側・公益側委員と私たち、および他県との認識の違いの大きさには愕然とします。しかし、マイナス面ばかり強調しているわけにはいきません。岩手の賃金が伸び悩んでいる要因の一つに、県内企業に占める中小企業の数が圧倒的に多く、大手の下請けで企業間の取引に公平さが欠けていたり、労務費を含む様々なコストを価格転嫁できないという状況が生まれています。連合は、全国の地方連合会に呼びかけ、価格転嫁をすすめる、経済活動を活性化させる取り組みを推進してきました。岩手では7月に、県が主導し、使用者側・労働者側・行政の3者の合意により、東北では4番目となる共同宣言が実現しました。今後は、企業間の公正な取引と価格転嫁の実効性を高め、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な分配を拡大する取り組みを強化していかねばなりません。

県立大学で行った連合岩手による寄付講座では、最低

賃金に関する質問が例年に比べ格段に多く、合わせて労働組合の存在が重要であるという意見が多く寄せられました。近い将来就労する若者にとって、希望の持てる雇用環境を整えていくことが私たち労働組合に求められている重要な役割であると認識します。

第2に、格差是正・ジェンダー関連についてです。私たち労働組合の運動の大きな柱の一つに、格差是正があります。地域間・企業規模間・雇用形態間・男女間・障害のあるなし・最近では産業別など、ほぼ全ての場面で格差があると言える状況にあります。中でも男女間の格差は様々な格差があり、その影響は大き過ぎます。連合岩手が毎年調査している賃金実態調査にも、勤務実態の違いはあるものの、ほぼ全ての産業・年代において男性と女性の賃金・年収には明らかな差が生じています。勤務実態の違いとは、例えば出産育児による休職や退職があり、職場復帰するにしても育児や介護の関係で臨時的雇用・非常勤雇用など、様々な形態があり、そのことが賃金の格差やキャリアの差として表れてしまうという現実があります。

第3に、平和の問題があります。私たちが労働運動に取り組み、労働者・生活者としての権利を主張できるのは、基本的な人権が認められる、平和な社会という基盤があってこそになります。今、世界ではロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナとイスラエルの戦闘状態が大きく取り沙汰されていますが、アフガニスタンやシリア、ミャンマーなど多くの国・地域で紛争が続いています。国の指導者の判断一つで、多くの国民が被災し、難民となる状況が何度繰り返されていることでしょうか。多くの若者が戦闘員として駆り出され、子どもたちは不安と恐怖におそわれる毎日が続いています。多くの人たちの、かけがえのない可能性、尊い人権が奪われています。たとえ、紛争が収まったとしても、そこに残るのは悲しみと憎悪のみ。一刻も早く平和な世界を取り戻すことが必要で、その責任は、当事国はもとより、国際社会を構成する全ての国にあり、平和を維持するための責任と自覚をもって、働きかける必要があります。私たち労働組合にも、組合としてできる取り組みがあるはずです。

最後に、連合岩手がめざす、働くことを軸とする安心社会の実現のためには、平和・人権・民主主義を基盤にした労働運動の展開とともに、労働者・生活者の立場に立った政策制度実現のための政治的活動を、連合運動の両輪として進めていかねばなりません。私たちがこれから迎える時代は、これまで経験したことのない人口減少や、めまぐるしい技術革新があり、個人の価値観も広がり、世界情勢も混沌とし、多様性をいかに認め合うかが問われる時代となっています。こうした時代だからこそ、働くことへの価値を高め、労働者・生活者の福祉向上をめざした政治を作っていくか、ねばなりませんし、女性の政治参画を高めることは最重要な課題であると認識しています。働く者、生活者の立場に立つ政治勢力の結集をとともにめざして参りましょう。

2024～2025年度 連合岩手役員体制

役職名	氏名	構成組織	
会長	伊藤 裕一	自治労	新
副会長	佐々木 正	J A M	再
同	山岸 伸行	運輸労連	再
同	佐藤 茂生	電力総連	再
同	藤本 誠	情報労連	再
同	豊嶋 昌勝	自動車総連	再
同	山田 清秋	UAゼンセン	再
同	佐藤 工	岩教組	再
同	村上 智加子	高教組	新
同	熊谷 洋一	J P 労組	新
同	松田 征大	フード連合	新
事務局長	鈴木 圭	電力総連	再
副事務局長	佐々木 正人	UAゼンセン	再

役職名	氏名	構成組織	
副事務局長	今野 善文	自治労	再
執行委員	岡田 直樹	電機連合	再
同	浅沼 宏優	J R 総連	再
同	大坪 勝利	私鉄複合産別労連	再
同	佐藤 翔	基幹労連	再
同	大坪 誠	国公総連	再
同	古坐 和幸	J E C 連合	再
同	工藤 和男	交通労連	再
同	日蔭 丈朗	自治労	新
同	松田 素子	女性委員会	再
同	佐々木 智香	青年委員会	再
会計監査	小山 信吾	全国ガス	再
同	菅野 遼亮	労金労組	新

特別執行委員(女性枠)

役職名	氏名	部門連絡会(構成組織)
特別執行委員	鳥居 さゆみ	金属(自動車総連)
特別執行委員	藤井 美智子	金属(自動車総連)
特別執行委員	島陰 光絵	繊維食品一般(UAゼンセン)

役職名	氏名	部門連絡会(構成組織)
特別執行委員	小岩 久美子	交通運輸(私鉄複合産別労連)
特別執行委員	酒井 裕美	情報流通サービス(情報労連)
特別執行委員	加賀谷 真紀子	官公(高教組)

特別執行委員(地協事務局長)

役職名	氏名	地域協議会
特別執行委員	村上 純	花巻北上地協(連合岩手)
特別執行委員	高橋 清明	胆江地協(連合岩手)
特別執行委員	野村 勉	一関地協(電機連合)
特別執行委員	紺野 千鶴子	気仙地協(連合岩手)

役職名	氏名	地域協議会
特別執行委員	菊池 利行	釜石・遠野地協(連合岩手)
特別執行委員	伊東 喜幸	宮古地協(連合岩手)
特別執行委員	坂本 敏美	県北地協(UAゼンセン)

オルガナイザー (2024～2025年度)

役職名	氏名	構成組織
オルガナイザー	村上 貴亮	UAゼンセン

注) オルガナイザー…連合岩手の組織拡大の業務を専任で行う者

退任された役員

第36回定期大会の役員改選で8名の方々が退任されました。これまでの連合活動へのご尽力に感謝いたします。

役職名	氏名	構成組織	在任期間
会長	佐々木 秀市	高教組	2021年 6月～2023年 10月 (副会長 2020年4月～2021年6月)
副会長	高木 晋	J P 労組	2021年 10月～2023年 10月
副会長	芳賀 正喜	フード連合	2021年 10月～2023年 10月
副事務局長	小菅 孝広	自動車総連	2021年 10月～2023年 10月
会計監査	舟野 彰仁	労金労組	2020年 11月～2023年 10月
会計監査	高島 光洋	労済労組	2021年 10月～2023年 10月



連合岩手2024年 新春旗開きのお知らせ

開催日時／ 2024年 1月6日（土） 15:00～17:00

開催場所／ ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

主催 連合岩手・連合岩手盛岡中央地域協議会

協賛 （一社）岩手県労働者福祉協議会



教育ローン カード型

ご融資限度額 最高2,000万円
 ご融資期間 最長20年
 お支払いタイプ 変動金利

POINT 1 お子さまの在学中は、「お利息のみ」のご返済!
 POINT 2 お子さまの在学中は、限度額の範囲内で繰り返しお借入れが可能!

ご融資金利 年1.95% (変動金利)

東北ろうきんの住宅ローンをご利用の方

ご融資金利より一律
年0.4%引下げ!

年 **1.55%**

東北ろうきんの住宅ローンをご利用されていない方

金利引下げ優待
の適用に

ご融資金利より最大
年0.2%引下げ!

年 **1.75%**

金利引下げ対象	適用引下げ幅
●ご融資開始から1年以内	年0.1%
●ご融資開始から1年以上2年以内	年0.1%
●ご融資開始から2年以上3年以内	年0.1%
●ご融資開始から3年以上4年以内	年0.1%
●ご融資開始から4年以上5年以内	年0.1%
●ご融資開始から5年以上6年以内	年0.1%
●ご融資開始から6年以上7年以内	年0.1%
●ご融資開始から7年以上8年以内	年0.1%
●ご融資開始から8年以上9年以内	年0.1%
●ご融資開始から9年以上10年以内	年0.1%
●ご融資開始から10年以上11年以内	年0.1%
●ご融資開始から11年以上12年以内	年0.1%
●ご融資開始から12年以上13年以内	年0.1%
●ご融資開始から13年以上14年以内	年0.1%
●ご融資開始から14年以上15年以内	年0.1%
●ご融資開始から15年以上16年以内	年0.1%
●ご融資開始から16年以上17年以内	年0.1%
●ご融資開始から17年以上18年以内	年0.1%
●ご融資開始から18年以上19年以内	年0.1%
●ご融資開始から19年以上20年以内	年0.1%

東北労働金庫 **0120-1919-62** **ろうきんアプリ**

<https://www.tohoku-rokin.or.jp>
 (受付時間：平日 午前9時～午後5時)

2023年7月1日から 岩手県の条例で
「自転車損害賠償保障」への加入が努力義務化
※「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」

力を合わせて万が一に備える大型保障

団体生命共済

個人賠償責任共済

●団体生命共済に加入している場合に付帯できます。

月々の掛金 +200円

住まいる共済

火災共済・自然災害共済

個人賠償責任共済

●火災共済に30口以上加入している場合に付帯できます。

月払いの場合 +200円
年払いの場合 +2,300円

こくみん共済

個人賠償プラス

●こくみん共済の各タイプに組み合わせて加入できます。単独での加入はできません。

月々の掛金 +200円

こくみん共済 coop の各種共済で
自転車事故から
日常にひそむ『まさか』まで
備えることができます。

0323V006

岩手推進本部（岩手県労働者共済生活協同組合）

盛岡支所 電話019-622-0631 **共済ショップー関店** 電話0191-26-2678
北上支所 電話0197-65-0160 **釜石支所** 電話0193-21-1122